

Prefectural Assembly Report

県議会 レポート vol.3

2024.11.29
一般質問
を行いました

令和6年第3回
後期定例会動画



群馬県議会議員

今井としや

新たな群馬モデル創出に向けた公共交通と企業局の再生可能エネルギー電気利用のあり方について質問

Q 上毛電気鉄道・上信電鉄・わたらせ渓谷鉄道の県内中小3私鉄は群馬型上下分離などを通じて県が支援しているものの経営的には厳しい状況にある。動力として電気を利用している上電・上信の年間電気料金と営業費に占める割合、電気使用量はどのくらいか。また、鉄道が存在することで沿線地域にもたらす価値と意義をどう考えるか。

A 【DX推進監】 上電が電気料金約1億3,400万円、営業費に占める割合は22.6%、電気使用量は約523万kWh。上信が電気料金約1億2,500万円、営業費に占める割合は15.5%、電気使用量は約472万kWh。鉄道は大量輸送、定時性、環境面や安全性でも利点があり、また、地域のイメージ向上や人口減少抑制にも貢献している。県もR5年3月に策定した交通まちづくり戦略において地域鉄道を重要な広域移動手段として維持する方針を示している。

Q 群馬県公営企業では水力や太陽光といった再生可能エネルギーを利用して発電を行っており、R5決算における電気事業の黒字額は約28億6千万円である。R6における電気販売状況と単価はどのくらいか。また、地方公営企業法に規定する企業管理者と地方公共団体の長の関係はどんなものか。

A 【企業管理者】 地産地消PPAで約1億5,000万kWh、一般競争入札で約4億5,000万kWhの電気を販売しており、一般競争入札における販売単価は1kWhあたり税抜14.15円と12.72円である。企業管理者と地方公共団体の長の関係については、地方公営企業法第16条で「地方公共団体の長は当該地方公共団体の住民の福祉に重大な影響がある地方公営企業の業務の執行に際しその福祉を確保するため必要があるときは管理者に対して地方公営企業の業務の執行について必要な指示をすることができる」と規定している。

Q 群馬県の公営企業では水力や太陽光といった再生可能エネルギーによる発電を行っており、再生可能エネルギーを生産・供給できる体制が県内にあるのは素晴らしいことである。公共施設や公共交通といった、公共性の高いところでクリーンな電気を使うことに社会的意義があると考える。公営企業は一般競争入札で電気を1kWhあたり税抜14.15円と12.72円で外部に売っている。公営企業が発電したクリーンな電気を公共交通事業者への割安な価格で供給して、経営の安定を図りつつ県民の多面的なメリットを守るといふ、これまでにない価値を生む新たな群馬モデルを提案するがどうか。

A 【知事】 今井県議から新しい視点でこういう提案をしていただけるのは大変ありがたい。ご質問にあつたとおり、環境、地産地消、子どもたちの教育効果などの意義はあるが、公共交通事業者のみに限って割安に売電するのは公益性の観点から難しいと考える。ただ、問題意識は私も共有しており、持続可能な鉄道経営のために必要な公的支援のあり方等については真剣に検討したい。

※1 非認知能力を伸ばす幼児保育環境の整備について質問

Q 幼児期における非認知能力育成の重要性と効果の高さについて、学術的な裏づけがなされてきている。ノーベル経済学賞を受賞したジェームズ・ヘックマン教授によると、幼児期に非認知能力を育成しておくことで成人後に生活の安定や健康の維持が図られ、その結果、収益性が高く社会保障コストが低いより良い社会の構築につながるという。学術的裏づけのある幼児向け非認知能力育成プログラムをつくれれば、保護者にとっては群馬県に住んで保育施設を利用するだけで子供たちの非認知能力が高まることになり、保育士など働き手にとってはスキルアップや待遇改善にもなる一石二鳥と考えるがどうか。

A 【知事】 群馬県ではいち早く非認知能力に着目した教育の実践に取り組んでおり、令和8年度末を目途に県内の中学生・高校生を対象とした群馬モデルをつくることを目標としている。幼児期が最も効果が高いのはそのとおりだと思うので、今井県議のご提案になった幼児期における非認知能力育成プログラムは、よく中身を研究していきたい。また保育士の待遇について、群馬県では所定の研修を受けた場合に待遇改善される仕組みがある。



群馬県の農業について質問

Q 農業を取り巻く状況は年々厳しさを増している。基幹的農業従事者の令和5年における平均年齢は68.7歳であり、働き手の高齢化という問題は10年どころか5年のうちに有効な対策をしなければならぬ。そのほか、収益性の向上と経営の効率化、労働時間の短縮、気候変動対策やブランド化を目的とした新品種の導入、そして土地改良などの基盤整備といった大小様々な対策を実施しながら、大規模農業者と小規模農業者の双方について持続可能性を高めていく必要があるが、農業の将来的な方向性をどう考えるか。

A 【農政部長】 ご指摘のとおり、経費の上昇分を農産物の価格に転嫁できずに収益性が低下し、経営が非常に厳しいという認識はしている。農地の集積による経営の効率改善、輸出に関心のある農業者の育成、国内資源の活用による国際競争力に左右されにくい農業への転換、暑さに強い品種への転換や収入保険などのセーフティネットへの加入の促進など、総合的な施策の展開により持続可能な農業経営の確立に取り組むたい。

Q 人が生きていくのに必要不可欠である「食料」と「エネルギー」については、ある程度自給自足できるように政治の力で誘導する必要がある。知事と意見交換をした際に、私の地元である太田市数塚地区は昔から小玉スイカで有名であるが、群馬県のホウレンソウ出荷量日本一を支える大産地でもあるということを知ったら、ぜひ産地を訪問したいと言ってくれた。これを関係者に伝えたら大変喜ばれたが、これこそが知事の仕事である。太田市には、ほかにも新田地区の糖度9度以上というトマトのブリックスサイン、尾島地区では有名な大和芋、太田地区には米麦中心に花や果樹もある。群馬県全体では、コンニャクイモ、キヌヅツ、レタス、ナス、キュウリ、梅、豚肉も全国一位、2位、またはランキング上位の常連。希少性やブランドではニジマス、超絶サーモンV3をはじめ、下仁田ネギ、川場村のお米雪ほたか、そして上州和牛やイチゴのやよいひめと枚挙にいとまがない。現場を訪問して関係者を鼓舞し、さらに山本一太知事ならではの発信力を活かして産地・産品をPRすることを期待するが、知事の農業振興にかける熱意を問う。

※1 非認知能力：知能テストや学力テストでは測定できない能力で、具体的には、向上心、忍耐力、協調性、自制心、他者への配慮など、人の心や社会性に関係する能力を指す。
※2 ツルノス：群馬県庁32階にあるスタジオ。群馬県をPRする動画を作成したりしている。

A 【知事】 群馬県の農業は将来に向けて多くの可能性を秘めている。この点も今井県議と認識は同じである。※2 ツルノスをつくって5年近くになるが、ようやく発信力が上がってきた。群馬県は動画チャンネルの登録者数の増加日本一、動画の再生数も実質的に日本一であり、今こそ県の発信力を使って農畜産物の応援をしたい。農業の生産現場に足を運んで実態を把握していく。今井県議の地元へは、小玉スイカとホウレンソウが旬の時期にうかがうことを約束する。

自動車の電動化への対応について質問

Q SUBARUのバッテリーEVへの対応が本格化してきている。新規事業や新技術に対応する事業者へのバックアップと、企業体力に劣る中小零細事業者へのフォローが重要であると考えますが、どのように取り組むか。

A 〔産業経済部長〕 電動化の流れが本格化する中、自動車サプライヤーの課題は大きく3つあると考えている。1つ目は新たな技術への対応であるが、自動車サプライヤー支援センターにて高性能なソフトウェアを利用できる環境を整え、自社での導入が難しい中小規模事業者の後押しをしている。2つ目は新たな技術を活用できる人材の育成であるが、リスティングに意欲のある企業を支援している。3つ目の課題は業態転換・事業再構築であるが、事業多角化や新分野進出を支援するほか、国とも連携して県内金融機関を交えて勉強会を行うなどしている。今後も中小零細事業者が電動化に対応できるよう関係機関と連携し支援していく。



県立病院の問題について質問

Q 建て替えが決定している小児医療センター以外の、心臓血管センター、がんセンター、精神医療センターについて、老朽化対策をはじめ大規模改修や建て替えなどはどうなっているか。

A 〔病院局長〕 上記4つの県立病院では、それぞれの分野で高度かつ専門的な医療を継続して提供していく使命がある。県は令和6年3月に群馬県立病院経営強化プランを策定し、施設としての重要性や劣化度を基に優先順位を考慮し病院施設の長寿命化に向けた対策を定めた。令和5年度の老朽化対策としては、心臓血管センターでエレベーターとクレーンタワーの更新、精神医療センターで非常用電源装置の更新を行っている。今後も長期的な視野で維持管理を行っていき



教育の問題について質問

Q 現場からの声であるが、年度途中で教員の欠員が出て、補充がなかなかできない状況にあるという。補充要員はフルタイム勤務が前提であることが要因のひとつとされるが、パートタイム人材の活用を推進するのはいかがでしょうか。また、小中学校高校を問わず、全体的な教員不足を補うため、例えば、定年後の再任用期間終了後も一度再任用する方法などで、働く意欲がある方々のフルタイム雇用を継続させることについてはどう考えるか。

A 〔教育長〕 ご指摘のように教員の欠員や不足は群馬県でも深刻である。欠員補充はフルタイム勤務が原則だが、パートタイム勤務が可能な非常勤講師での任用もある。また再任用期間終了後であるが、非常勤講師はもちろんフルタイム勤務の臨時教員での任用も可能である。欠員や不足を充足するには、教員免許保有者にこの制度を知ってもらい、臨時教員希望者リストへの登録を増やすことが重要であり、登録者数を増やす努力を続けたい。

Q 部活動の『地域連携』および『地域移行』については、市町村ごから中学校ごとに違いが出てきており一律に部活環境を整備するのは難しい状況と見ているが、どのように進めているか。

A 〔教育長〕 部活動の『地域連携』および『地域移行』は、少子化が進む中、部活動を持続可能な形に変えていく取組である。県では、教育委員会と地域創生部が共同して令和5年7月に推進計画を策定し、まず『中学校の休日部活動の地域移行』について地域の実情に合わせ進めている。休日の部活動を学校外部の地域クラブで行う『地域移行』を進めているところがある一方、隣接する学校との合同部活動や拠点校方式の部活動など、いわゆる『地域連携』を進めているところもある。部活動の『地域連携』および『地域移行』についての保護者や地域の理解が大切である。今後も国の動向を注視し地域の実情に応じて進めたい。

県道2号前橋館林線(新田大根町交差点)について質問

Q 県道2号前橋館林線 新田大根町交差点での工事について、横断歩道橋の架け替えや新田大根町までの歩道整備といった過去に地元から出された要望と、それらがどのように反映されているのかも含めて進捗を伺う。

A 〔県土整備部長〕 新田大根町交差点は交通量が多いものの右折車線がなく朝夕を中心に渋滞が発生している。そしてここは綿打小学校の通学路であるが、歩道が未整備のまま小学生が県道を横断して通学しており、安全上早急な対策が求められていた。これらを踏まえ、南北方向の県道である大原境三ツ木線では交差点前後の拡幅工事を進めており、今年度末には右折車線の設置と歩道拡幅工事が完了する予定である。さらに、交差点の北側にある新田大根町までの約370mの区間で歩道の整備を計画している。また、東西方向の県道である前橋館林線では、令和7年度に交差点西側の拡幅工事、令和8年度には交差点東側の拡幅工事や県道を南北東西に横断できる新しい歩道橋の架け替え工事に着手する予定である。



第77回群馬県植樹祭

群馬県議会議員
今井としや

〔プロフィール〕
1974年7月 新田郡藪塚本町(現太田市)生まれ
1993年3月 群馬県立桐生高等学校 卒業
1998年3月 中央大学法学部法律学科 卒業
2015年5月 太田市新田商工会青年部監事
2017年3月 大原群銀会会長
2017年4月 太田市議会議員 **OTAC**産みの親!?
2021年4月 太田市立藪塚本町小学校PTA会長
2021年5月 (一社)東毛法人会太田支部青年部会長
2023年4月 群馬県議会議員

資格 宅地建物取引士・日商簿記1級
所属団体 太田市新田商工会 / (一社)東毛法人会
太田商工会議所 青年部 (YEG)
(一社)群馬県宅地建物取引業協会太田支部

家族 両親・妻・子供2人の6人家族
趣味 落語鑑賞 相撲観戦 温泉巡り ゴルフ 料理
藪塚リトルファイターズで野球を始める
高校時代は硬式野球部に所属
(2番/ライト/チーム1の俊足)

委員会

委員会の所属
常任委員会は総務企画委員会の所属で、総務部・知事戦略部・地域創生部を所管しています。特別委員会はスポーツ・文化の振興に関する特別委員会の所属で、2029年に群馬県で開催予定の国スポに向けて様々な角度から議論しています。



文化財

文化財ごぼれ話
国宝指定50周年を記念して東京国立博物館で特別展示された掛甲の武人ハニワ5兄弟。渡米しているメンバーもあり勢揃いするのは史上初でした。5兄弟は太田市と伊勢崎市で出土していますが、同じ工房で作成された可能性があるとのこと。群馬県もこの特別展と連携しハニワや古墳をPRする事業を補正予算で行いました。



ご意見・ご要望をお寄せください。

群馬県政に対するご意見や道路の損傷・雑草などのお困り事もお気軽にご相談ください。

